



百日紅(さるすべり)
花言葉…雄弁、愛嬌など

「約100日間、ピンクの花を咲かせる。」のが名前の由来。約3ヶ月間、夏から秋まで咲き続ける。実際には、一度咲いた枝先から再度芽が出てきて花をつけるため、咲き続けているように見える。花はしわしわの形。白い花もある。「猿滑」とも書く。“幹がスベスベで、猿も登れない”ところから。

花のお便り

2014.7 No.97

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

戦後69年、戦争で一人の死者も出していない国が稀となった。私が戦争について考えさせられたのはベトナム戦争だったが、その後は争いも多くなり、独立・解放を求める戦争、宗教間のいがみ合いなど、世界中で戦争のない日がめずらしくなった。一人が血を流せば、仕返しがあり連鎖へと繋がっていく。日本の紛争解決への貢献は、武器を持つことではない気がする。どなたかが言っていた「憲法9条を世界文化遺産へ」との響が何とも心地よく、一人一人が平和への想いを語ることが大切な世の中となった。



ビク抜き加工を知っていますか。

印刷が終了した用紙を、様々な形にする加工がビク抜き加工と言います。名称の語源は、ビクトリア型印刷機を改造して加工をしたことから通称ビク抜きと言われたようです。窓形の封筒や紙の箱、丸・三角・星などから、電車や飛行機など形は千差万物ですが、あまりにも細かい加工は出来ません。作業はお好みの形の金版の制作が必要となります。厚さ2cmほどの板に、形どった板金が埋め込んであります。その板を機械にセットし、紙にプレスし抜いていきます。材質も、紙以外にポリフィルム・塩ビ・合成皮革・ゴムなど多岐にわたります。



疑問に答える⑧ 用紙によって印刷の色が違うのは

コート・アート・マット紙は、塗工紙と言ひ紙の表面に加工がされていますが、上質・中質紙などは、非塗工紙で表面加工がありません。塗工紙は紙の表面でインキが乾燥し、紙の中面にはあまりインキが沈むことはありません。ところが、非塗工紙はインキが紙に沈み込んでしまいます。和紙を想像してみてください。墨を垂らした場合、表面には留まらず紙の中へと滲みていきますが、あれと同じ現象です。塗工紙は印刷したインキが表面に留まりますので、そのままの色が再現されますが、非塗工紙は薄ぼんやりと見えたり、暗く見えたりします。この現象は単色印刷でもカラー印刷(4色印刷)でも同じ結果となりますので、印刷データの作成時に注意が必要です。作業としては、写真データをRGBからCMYKへ変換する場合、写真の明るさや鮮やかさ、文字の色の調整が必要となります。さらに、データ入稿の出力原稿が6色~7色で表現するインクジェットだと、極端に鮮やかで明るい色となり、この場合も事前の確認が必要となります。

気まぐれエッセイ

米沢牛と裏磐梯のコーヒー

6月中旬に地元の仲間と米沢方面に行ってきました。米沢と言えばブランドの米沢牛が有名で、たらふく食べたい欲求に負け、ネットで探した「さかの」という牛肉専門店へ事前に牛丼を食べたいと伝えた。当日は8名だったが1時頃到着、早速注文すると「土・日」は牛丼が出来ないとの返事。「え、そのために東京からわざわざきたのに」との殺し文句を並べる。押し問答をしていると、料理長がわざわざ出てきて、早速調理をいたしますとのこと、誠にありがとうございました。それにしても高齢者パワー(ずうずうしさ)

はずごい(熟年女性の)、おかげで満足満足、料金の1500円は高くはなかった。(誰ですが吉野屋と比べるのは)。宿は開湯700年の白布温泉「中屋」で、母屋は大正時代の建造、部屋は古風だがなんと落ち着く。翌日は、福島との県境に聳える吾妻連山の峠から檜原湖へ降り、猪苗代湖へのコースをとったが、その途中で美味しいコーヒーに巡りあった。店名はしらかばペンションと言ひ、南極観測隊にも参加した経歴を持つ、優しくユニークで話好きなご主人でした。